

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	連絡幹線配水管の布設			
予 算 額	636,000 千円	新規・継続の別	継続	
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠	
担 当 課	水道部 管理課（672－7743）			
[事業実施に至る経過・背景など]				
京都市では、平成 15 年度から全ての管路で耐震管を採用し、老朽化した配水管の更新及び耐震化を推進するとともに、給水の相互融通を可能とする連絡幹線配水管（※）を整備するなど、地震等の災害に強い高水準な水道システムを構築するため、水道管路の地震対策を積極的に進めている。 ※ 連絡幹線配水管 隣接する異なる給水区域の配水幹線を耐震化された水道管路により連絡させるもの。これにより、京都市内の 3 浄水場のうち 1 つが地震等の災害による事故で給水ができなくなった場合においても、他の浄水場から給水が可能となり、安定して給水できる体制が構築できる。				
				
[事業概要]				
平成 28 年度は、 <u>蹴上最高区系と松ヶ崎最高区系の幹線をつなぐ「吉田連絡幹線配水管布設工事」、</u> <u>松ヶ崎高区系と山ノ内高区系の幹線をつなぐ「花園連絡幹線配水管布設工事」、</u> <u>及び蹴上低区系と新山科低区系の幹線をつなぐ「御池連絡幹線配水管布設工事」</u> <u>を実施する。</u>				
	計画延長	布設済延長※	H28 布設予定延長	残延長
吉田連絡幹線 φ 600mm	約 5.5km	5.1km	0.4km	0
花園連絡幹線 φ 600mm	約 1.8km	0.1km	1.4km	約 0.3km
御池連絡幹線 φ 1000mm	約 5.0km	0.0km	0.5km	約 4.5km
※H27 布設予定延長含む。				
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]				

平成 2 8 年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	新山科浄水場導水トンネルの 2 系統化		
予 算 額	267,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	水道部 施設課(672－7767)		
[事業実施に至る経過・背景など] 地震等災害時において、原水（水道水のもとになる水）を安定的に取水するため、原水を運ぶ導水トンネルの 2 系統化を図り、バックアップ体制を強化することが必要である。 こうしたことから、市内の約半分の給水を担う新山科浄水場において、第 2 琵琶湖疏水と新山科浄水場を結ぶ新山科浄水場第 2 導水トンネルを築造する。 これまで、ルート選定や必要口径等の基本条件を決定するとともに、発進立坑用地の整備を行ってきた。現在、地質調査、測量及び実施設計を行っている。 [事業概要] 平成 28 年度においては、引き続き実施設計を行うとともに、新山科浄水場内において、発進立坑の整備に着手する。			
蹴上 日ノ岡 琵琶湖疏水 琵琶湖 新たに導水トンネルを築造 既設導水トンネル 新山科浄水場			
(整備スケジュール) 平成 27 年度～28 年度 地質調査、測量及び実施設計 平成 28 年度～33 年度 本体工事			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	鉛製給水管(道路部分)の取替え																
予 算 額	3,090,000 千円	新規・継続の別	継続														
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠														
担 当 課	水道部 給水課 (672－7747)																
[事業実施に至る経過・背景など]																	
漏水を防止するとともに、より安全・安心で良質な水道水を供給するため、「京(みやこ)の水ビジョン(平成19年策定)」において、平成29年度末までに道路部分の鉛製給水管を解消することを目標に掲げ、取替工事を実施している。																	
[事業概要]																	
鉛製給水管の取替えを目的とした単独取替工事により、道路部分(配水管から水道メーターまで)に布設された鉛製給水管の解消を進める。 <u>平成28年度は、約12,600件の取替えを実施し、平成29年度末までに道路部分の鉛製給水管を全て解消する。</u>																	
道路部分の鉛製給水管の割合 年度別推移 <table><thead><tr><th>年度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24 プラン 策定時</td><td>17.0%</td></tr><tr><td>H25</td><td>13.5%</td></tr><tr><td>H26</td><td>10.2%</td></tr><tr><td>H27 見込</td><td>6.6%</td></tr><tr><td>H28 予算</td><td>3.2%</td></tr><tr><td>H29 プラン 目標</td><td>0.0%</td></tr></tbody></table>				年度	割合	H24 プラン 策定時	17.0%	H25	13.5%	H26	10.2%	H27 見込	6.6%	H28 予算	3.2%	H29 プラン 目標	0.0%
年度	割合																
H24 プラン 策定時	17.0%																
H25	13.5%																
H26	10.2%																
H27 見込	6.6%																
H28 予算	3.2%																
H29 プラン 目標	0.0%																
※プラン＝京都市上下水道事業中期経営プラン(2013－2017)																	
(事業実績)																	
近年の鉛製給水管の取替えを目的とした単独取替工事																	
年度	事業費	件数															
平成25年度	2,946百万円(決算)	12,768件															
平成26年度	3,020百万円(決算)	12,886件															
平成27年度	3,090百万円(見込)	12,600件															
[参 考(他都市の状況・事業効果など)]																	

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	鉛製給水管取替助成金制度														
予 算 額	3, 500千円	新規・継続の別	継続												
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠												
担 当 課	水道部 給水課（672－7747）														
〔事業実施に至る経過・背景など〕 宅地内（水道メーターから蛇口等までの間）に残存する鉛製給水管の取替えを促進するため、取替工事費の一部を助成する制度を平成19年6月から実施している。 〔事業概要〕 平成28年度も引き続き、宅地内に残存する鉛製給水管を取り替える工事（漏水修繕時に鉛管を取り替える工事を含む。）を実施するとき、申請により工事代金の2分の1を助成する。（交付額の上限は5万円）															
															
（事業実績） <table><tr><td>年度</td><td>交付件数</td><td>交付金額</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>81件</td><td>2,636千円</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>23件</td><td>1,077千円</td></tr><tr><td>平成27年度（※）</td><td>37件</td><td>1,516千円</td></tr></table> ※平成27年12月末時点				年度	交付件数	交付金額	平成25年度	81件	2,636千円	平成26年度	23件	1,077千円	平成27年度（※）	37件	1,516千円
年度	交付件数	交付金額													
平成25年度	81件	2,636千円													
平成26年度	23件	1,077千円													
平成27年度（※）	37件	1,516千円													
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕															

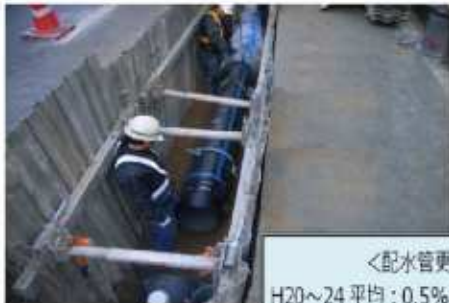
平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	蹴上浄水場第1高区配水池の更新		
予 算 額	812,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	水道部 施設課(672－7767)		
[事業実施に至る経過・背景など] 将来にわたって、安定的な給水を行うため、基幹施設である浄水施設については、施設の改良や更新等に併せて、順次耐震化を図っている。 蹴上浄水場の第1高区配水池は、建設から103年が経過し、老朽化が著しいことから改築更新する必要がある。 一方で、蹴上浄水場は、平成19年に経済産業省から「近代化産業遺産群」の構成遺産として認定されており、第1高区配水池は、蹴上浄水場に唯一残る浄水場創設期(明治45年頃)の施設で、地上建造物や外壁は、近代化の象徴であるレンガ造りとなっている。 こうしたことから、配水池の更新にあたっては、地上建造物の外観を保存する工法(曳家(ひきや)工法)を採用して、歴史的建造物の保存を進める。 [事業概要] 平成28年度は、既設配水池の取り壊しを行うとともに、新設配水池の築造を行い、更新工事を完了する。 (事業内容) (1) 工事内容 配水池築造工、 既設配水池取り壊し工、 地上建造物移設工(曳家工法)など (2) 工事期間 平成25年度～28年度 (3) 総事業費 約17億円			
			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	老朽化した水道管の更新と耐震化		
予 算 額	7,350,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	水道部 管理課（672－7743）		
[事業実施に至る経過・背景など]			
日常生活に欠かすことのできないライフラインである水道を将来にわたり安心して使い続けるため、昭和 40 年代から 50 年代初めにかけて布設した大量の水道管の計画的な更新が求められるとともに、大規模な地震に備え、水道管の更新による耐震化の必要性が高まっている。			
[事業概要]			
平成 28 年度は、上水道整備事業費 173 億円のうち、老朽管更新事業として、73 億 5,000 万円を確保し、水道管の更新をペースアップするとともに、耐震化をより一層効率的・効果的に進めていく。			
具体的には、配水管の更新率を平成 27 年度の 1.0 パーセントから、1.1 パーセントに引き上げる。配水管の更新に当たっては、管の材質や布設年度をはじめ様々な条件を総合的に考慮し、優先順位を決めて、耐震性の高い「高機能ダクタイル鋳鉄管」への布設替えを実施する。			
(主な事業内容)		 水道管更新工事 <配水管更新率> H20～24 平均：0.5% ⇒ H28：1.1% 【H29（プラン目標）：1.2%】	
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	京(みやこ)の水道管おそうじプロジェクト																		
予 算 額	9,000千円	新規・継続の別	継続																
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠																
担 当 課	水道部 配水課(672－7752)																		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 老朽化した水道管は、長年の使用による鉄さびの付着が原因で、にごり水が発生する可能性があることから、計画的に水道管の洗浄をする必要がある。 〔事業概要〕 老朽化した水道管を更新するまでの間も、安全・安心な水道水を安定的にお届けするために、山ノ内浄水場廃止に伴う給水区域切替作業で培った技術や技能を活かし、平成28年度も引き続き、「京(みやこ)の水道管おそうじプロジェクト」として、水道管内洗浄作業を計画的に実施する。 洗浄作業の様子  (事業実績) <table><tr><th>年度</th><th>実施回数</th><th>対象管路延長</th><th>対象戸数</th></tr><tr><td>平成25年度</td><td>8回</td><td>9,540m</td><td>5,310戸</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>15回</td><td>25,100m</td><td>13,300戸</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>14回</td><td>38,900m</td><td>14,260戸</td></tr></table> 〔参 考 (他都市の状況・事業効果など) 〕				年度	実施回数	対象管路延長	対象戸数	平成25年度	8回	9,540m	5,310戸	平成26年度	15回	25,100m	13,300戸	平成27年度	14回	38,900m	14,260戸
年度	実施回数	対象管路延長	対象戸数																
平成25年度	8回	9,540m	5,310戸																
平成26年度	15回	25,100m	13,300戸																
平成27年度	14回	38,900m	14,260戸																

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	雨水幹線の整備		
予 算 額	1,524,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	下水道部 計画課 （672－7839）		
[事業実施に至る経過・背景など]			
近年、台風に伴う広域で長時間に及ぶ大雨や、局地的で短時間の豪雨などが多発していることから、市民の生命や財産を守るため、浸水被害の最小化を図る雨に強いまちづくりの実現に向け、雨水幹線の整備を着実に進めていく。			
[事業概要]			
平成28年度は、山科三条雨水幹線、新川6号幹線、花見小路幹線、山科川13－1号雨水幹線、伏見第3導水きょについて工事を着実に進める。山科三条雨水幹線については、平成28年度中に工事を完了させる。			
(主な事業内容)			
○山科三条雨水幹線（山科駅周辺地区） ・口径 1,500mm／延長 2,260m ・事業年度 平成24年度～平成28年度			
○新川6号幹線（阪急桂駅東側地区） ・口径 2,200mm／延長 1,180m ・事業年度 平成26年度～平成30年度			
○花見小路幹線（祇園地区） ・口径 1,800mm／延長 840m ・事業年度 平成27年度～平成30年度			
○山科川13－1号雨水幹線（山科北部地区(名神高速道路 京都東インターチェンジ南側)） ・口径 3,500mm／延長 770m ・事業年度 平成27年度～平成30年度			
○伏見第3導水きょ（伏見大手筋地区） ・口径 3,000mm／延長 2,200m ・事業年度 平成27年度～平成31年度			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	合流式下水道の改善		
予 算 額	1,350,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	下水道部 計画課 (672－7839)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
汚水と雨水を1つの下水道管で排水する合流式下水道においては、大雨時に汚水の混じった雨水が河川へ一部放流され、水環境に悪影響を与えてしまうことから、公衆衛生上問題となっている。 京都市では、河川の水質保全を図るため、昭和 61 年度から、雨天時に河川へ放流される下水を貯留する幹線の整備を進めている。 また、平成 14 年度からは、河川に流れ出すゴミの流出を防止するため、雨水吐口にスクリーンを設置するなどの流出防止対策を実施しており、平成 27 年度には全ての雨水吐口で対策を完了する見込みである。			
[事業概要]			
平成 28 年度は、伏見北部地区において、雨天時に東高瀬川へ放流される下水を貯留する津知橋幹線の整備に着手する。			
改善前 改善後			
(主な事業内容)			
津知橋幹線 (伏見北部地区)			
・口径 2,500mm／延長 1,150m			
・事業年度 平成 28 年度～平成 32 年度			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

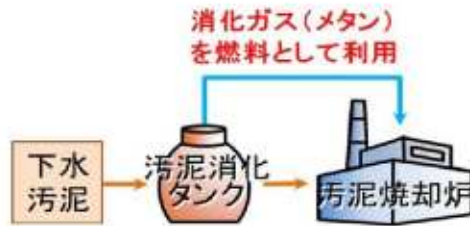
平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	下水の高度処理施設の整備		
予 算 額	550,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	下水道部 計画課 （672－7839）		
[事業実施に至る経過・背景など] 京都市では、平成 9 年度から、京都市内の河川やその下流水域の水質を向上させ、閉鎖性水域である大阪湾などの富栄養化を防止するため、通常の下水处理では処理しにくい窒素，リンを除去できる下水の高度処理の導入を進めている。 [事業概要] 現在整備中である伏見水環境保全センターの分流系高度処理施設について、引き続き工事を着実に進める。 (主な事業内容) (1) 整備期間 平成 27 年度～平成 28 年度 (2) 平成 28 年度の予定 伏見水環境保全センター 分流系反応タンク機械・電気設備  高度処理施設（鳥羽水環境保全センター）			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	汚泥消化タンクの整備		
予 算 額	1,350,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	下水道部 計画課 (672－7839)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 近年、循環型社会、低炭素社会への転換が求められており、下水道事業においても、省エネルギー化や温室効果ガスの排出削減等を進めていく必要がある。 京都市では、下水の処理過程で発生する下水汚泥から、メタンを主成分とする消化ガスを発生させ、焼却炉の燃料の一部として利用する取組を実施してきた。 〔事業概要〕 老朽化した消化ガス関連設備（汚泥消化タンクなど）の再整備を実施し、併せて機能の向上を図ることで、消化ガスの発生量を増加させる。 これにより、平成30年度から下水汚泥の焼却処分に要する燃料の全てを賄うことが可能となり、化石燃料の使用が不要となる。			
<pre>graph LR; A[下水汚泥] --> B[汚泥消化タンク]; B -- "消化ガス(メタン)を燃料として利用" --> C[汚泥焼却炉];</pre>			
(主な事業内容) (1) 整備期間 平成26年度～平成29年度 (2) 平成28年度の予定 鳥羽水環境保全センター 汚泥消化タンク築造 汚泥消化タンク機械・電気設備			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	老朽化した下水道管の更新と耐震化		
予 算 額	2,000,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	下水道部 計画課 （672－7839）		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 市民生活を支える重要なライフラインである下水道を、将来にわたって安心して使い続けるため、老朽化した下水道管の計画的な更新や耐震化を進め、地震に強い下水道の整備を推進していく必要がある。 〔事業概要〕 下水道管の標準的な耐用年数である 50 年を超過した老朽管や、緊急輸送路下・避難所等からの排水を受ける重要な管路（平成 28 年度：延長 28km 実施）について、改築・更新を実施することにより、平常時だけでなく、災害時においても下水道機能の維持・向上を図る。 施工前  施工後  管きょ更生工法による更新			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	山間地域における水道施設の再整備等		
予 算 額	4,309,764 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	技術監理室 地域事業課（672－7790）		
1 中川・小野郷地域水道整備事業（予算額 695, 241 千円）			
[事業実施に至る経過・背景など]			
中川地域水道及び小野郷地域水道は、近年、両水道の水源である井戸の水位低下が見られることから、両区域において安全・安心な水道水を将来にわたり、より安定的に供給するため、中川浄水場内に新たな水源を確保し、両水道を結ぶ連絡配水管などを整備することとし、平成 27 年度から整備事業を実施している。			
[事業概要]			
(1) 事業内容 中川浄水場の整備（取水施設の新設）及び連絡配水管の布設など			
(2) 総事業費 約 7 億円			
(3) 整備期間 平成 27～28 年度			
(4) 平成 28 年度予定 中川浄水場整備工事及び連絡配水管布設工事 など			
2 京北地域水道再整備事業（予算額 3, 614, 523 千円）			
[事業実施に至る経過・背景など]			
京北地域水道は、施設の老朽化が著しいことに加えて、一人当たりの使用水量の増加に伴う水量不足や、広範囲に多くの浄水場が点在するため、管理の効率化などの課題を抱えている。			
このため京都市では、京北地域において安全・安心な水道水を将来にわたり、より安定的に供給するため、平成 18 年 3 月に京北地域水道の再整備事業計画を策定し、平成 19 年度から再整備事業を実施している。			
[事業概要]			
(1) 事業内容 ①既存の 9 事業・11 浄水場を 4 事業・5 浄水場に統合することによる施設管理の効率化			

②老朽化した施設の改築・更新及び浄水処理能力の向上による
安全・安心で安定した水道水の供給

- (2) 総事業費 約79億円
- (3) 整備期間 平成19～28年度
- (4) 平成28年度予定 京北中部地域水道…配水管布設工事及び配水池等整備工事



再整備事業により完成した山国浄水場(京北中部地域水道)

[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	営業所の再編及び新庁舎の整備		
予 算 額	2,440,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	総務部 経営企画課(672－7709) 技術監理室 監理課(672－7708)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
「京都市上下水道事業中期経営プラン（2013-2017）」に基づき、老朽化した営業所庁舎の建替えに併せ、より一層効率的な業務執行体制を構築するとともに、水道・公共下水道事業の総合窓口としての地域に根差した市民サービスの向上と地域の防災拠点としての役割の充実に図るために、営業所を平成29年度までに現在の7箇所から5箇所に順次再編する。			
[事業概要]			
平成28年度は、市内西部地域を所管する右京営業所と西京営業所を統合する「西部営業所」の平成29年度開所に向けて、山ノ内浄水場跡地（北西部用地）において、上下水道局の機能を集約化した地域の防災拠点となる新庁舎の建設に着手する。			
(西部営業所等新庁舎整備スケジュール) 平成28年 1月 建設工事着手 平成29年 3月 建設工事完了(予定) 5月 新庁舎開所(予定)  新庁舎外観イメージ			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	ミスト装置の普及促進		
予 算 額	5,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	総務部 経営企画課(672－7709)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 京都市では、環境にやさしい仕組みの冷却装置であるミスト装置（※）の設置を「京都市地球温暖化対策計画（2011-2020）」において、ヒートアイランド現象を緩和するための具体的な取組の一つとして位置付け、普及促進を進めることとしている。上下水道局においても地球温暖化防止の促進と水道水の新たな需要喚起につなげるため、平成23年度から普及促進を進めている。 ※水道水に高い圧力をかけるなど、特殊なノズルで微細な霧を噴出することにより水を効果的に気化させ、その気化熱が周囲の熱を奪う現象を利用し、周辺気温を下げる装置のこと。 〔事業概要〕 平成28年度については、多くの市民や観光客の皆さまが利用される京都駅前市バスのりばや各種イベント開催場所への設置、又は保育所、幼稚園、児童館、小中学校へのモニター設置でミストの冷却効果を体感していただくことにより、環境にやさしい水道水をPRするとともに、水道水の新たな利用方法であるミスト装置の普及を促進し、水需要の喚起につなげる。 <u>（平成28年度実施予定）</u> ○「京（みやこ）の駅ミスト」 ドライ型ミスト装置を京都駅前市バスのりばに設置 ○「澄都（すみと）くんと元気にミストシャワー」 簡易型ミスト装置を保育所等にモニター設置 その他、各種イベント開催の場にミスト装置を設置する予定である。			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			



京都駅前市バスのりばのミスト装置



京都駅前市バスのりばのミスト装置

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	京(みやこ)の水飲みスポットの設置		
予 算 額	5,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	総務部 経営企画課(672－7709)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 京都市の水道水が安全・安心で、おいしく、高品質であることを、広く市民の皆さまや、京都を訪れる外国人を含む観光客の皆さまに御理解いただき、気軽に御利用いただけるよう、平成26年度から「京(みやこ)の水飲みスポット」として、水飲み場(京の水飲みスポット)の設置を推進している。 〔事業概要〕 平成28年度は、観光客や市民の皆さまが多数訪れる観光地等を中心に観光地に隣接する公共交通機関の駅、上下水道局関連施設や各局所管施設等へ水飲み場(京の水飲みスポット)を設置するとともに、取組状況を各種広報媒体を通じて広く市民の皆さまにお伝えする。 (設置実績) 平成26年 7月 京都市役所前「こども夢広場」 11月 「バスの駅」東山安井 平成27年 5月 上下水道局南部営業所 (今後の設置予定箇所) ○元離宮二条城事務所の券売機北側付近 ○京都駅南口のサンクンガーデン ○京都駅南口の拠点広場デッキ2階			
		 市役所前広場の水飲み場	
〔参 考 (他都市の状況・事業効果など) 〕			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	おいしい！大好き！京(みやこ)の水キャンペーン		
予 算 額	5,600千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	総務部 総務課 (672－7810)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
京都市では、市民の皆さまをはじめ京都市に通勤・通学されている方など、京都の水道水を使用されている多くの方に京都の水道水のおいしさとクオリティの高さ（安全・安心、低価格、環境にやさしい）を知っていただくことを目的に、平成25年度から「おいしい！大好き！京（みやこ）の水キャンペーン」を実施している。			
[事業概要]			
1 京（みやこ）の水カフェ in ZOO			
水道水を活用したアイスコーヒー、グリーンティー等を安価で提供するカフェを、リニューアルが完了して賑わいが増している京都市動物園の園内に期間限定でオープンする。			
2 京（みやこ）の水・利き水大作戦			
水道水と国産及び外国産のペットボトル水を飲み比べる「利き水」のブースを各種イベント会場や商業施設等に出展する。日中に屋外で開催するイベント会場等での出展では、熱中症予防を兼ねてより多くの方に水道水を飲んでいただくため、冷やした水道水を提供する「振る舞い」を実施する（合計20回程度の出展を想定）。			
※ 当局でこれまでに実施した「利き水」では、水道水を「最もおいしい」と回答する方が1番多い結果となっている。			
3 おいしい！大好き！京（みやこ）の水宣言			
水カフェ、利き水大作戦等のイベント会場や特設ホームページで、市民の皆さまに京都の水道水を「おいしい！」「大好き！」と自ら宣言していただき、水道水のおいしさとクオリティの高さを再認識していただく機会とする。			

(参考：平成27年度「おいしい！大好き！京（みやこ）の水キャンペーン」の様子)



京（みやこ）の水カフェ×龍谷大学



京（みやこ）の水・利き水大作戦

[参 考（他都市の状況・事業効果など）]